

令和5年度 事業計画

《 基本理念 》

「住民と共に歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」

《 基本方針 》

令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから3年が過ぎました。

人と人との距離をとり、大人数の集まりが制限され、マスクの着用が日常化される等、住民参加、住民主体の福祉コミュニティ形成を主とする地域福祉活動は、三密の回避と表情の見えない中での活動に大きく変化しました。

ようやく、新型コロナウイルス感染症の影響による制限が緩和されつつある中で、経済的な困窮世帯の増加に加え、社会的孤立の増加など、これまで顕在化した地域の福祉ニーズへの迅速な対応が求められています。

本年度は、昨年度策定しました鶴田町社会福祉協議会地域福祉活動計画（令和5年度～令和7年度）の推進とともに、感染症や自然災害が発生した場合に備えて事業継続計画を策定し、安定的・継続的にサービス提供できるように努めてまいります。

当協議会の基本理念である「住民とともに歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」の実現のため、役職員がその役割を再認識し、各関係機関、団体、行政との連携、協働を図るとともに、下記の重点項目を掲げ、積極的に取り組んでまいります。

《 基本目標・基本計画 》

基本目標1 福祉を伝える人づくり

基本計画① ボランティア活動の推進

- ② 福祉教育の推進
- ③ 広報・啓発活動の充実

基本目標2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくり

基本計画① 相談支援体制の充実

- ② 福祉サービスの充実
- ③ 社会参加・生きがいつくりの推進

基本目標3 みんなで支えあうまちづくり

基本計画① 住民主体の地域福祉活動の推進

- ② 地域の交流の場づくり
- ③ 地域福祉活動の基盤強化